

学園創立125周年記念事業 募金趣意書

学園は、本年10月31日
創立125周年を迎えます。

1887(明治20)年創立



Engineer our Future
2012

工学院大学 | 工学院大学附属高等学校 | 工学院大学附属中学校

学校法人 工学院大学

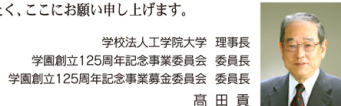
〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
TEL.03(3342)1211(代表) http://www.kogakuin.ac.jp/

学園創立125周年に向けて、明るい未来社会を創出する科学技術者の育成に努めてまいります。

《ご挨拶》

平成24年10月31日に、本学園は栄えある学園創立125周年を迎えます。現在推進しております学園創立125周年記念事業に対し、皆様からご協力・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰様で、125周年記念総合教育棟の建設、学生プロジェクト支援、クラブ活動施設の整備、東日本大震災への支援、理科教室の開催、学園史の編集等々学園創立125周年記念事業を着実に進めております。本学園の前身である工手学校は、明治20年に帝国大学初代総長の渡辺洪基の発意により、近代国家草創期の工業立国を担う優れた工業技術者の養成をめざして築地に設立されました。昭和3年には新宿に新校舎を建設し、工手学校を工学院と改称、昭和4年に工学院大学を開学、昭和38年には八王子キャンパスを開設、その後も大学院、大学、高等学校、中学校を擁する学園として発展を続けてまいりました。学園を巣立った卒業生は10万人を超え、卒業生たちは1世紀以上の時間をかけて広範な分野に進出し、活躍しております。大学は、工学部、建築学部、情報学部、グローバルエンジニアリング学部の4学部14学科を、大学院は、機械工学、化学応用学、電気・電子工学、情報学、建築学、システム

デザイン等の6専攻をそれぞれ擁しております。学園全体で学生・生徒8,000名、教職員4,000名が日々勉強、教育・研究に励んでおります。生涯教育への取組でエクステンションセンター、社会人教育の充実のため孔子学院、理科教育推進のための理科教育センターを開設しております。21世紀には生命工学をはじめ人類の無限の可能性が開花する時代の到来が予想されます。最先端の学問と社会・産業を幅広くつなぐ「工」の建学の精神にもとづき、グローバル社会で活躍できる人材育成に今後とも努めてまいります。学園創立125周年記念事業を、次の創立150周年に向けての発展の飛躍点と捉え、学園関係者が一丸となり強力に推進し、完遂させる所存でありますので、さらなるご協力・ご支援を賜りたく、ここにお願ひ申し上げます。



学校法人工学院大学 理事長
学園創立125周年記念事業委員会 委員長
学園創立125周年記念事業募金委員会 委員長
高田 貞

学園創立者・渡辺洪基と若き工学者たちの熱い志が、「ものづくり日本」の今日を推進してきました。

帝国大学初代総長渡辺洪基は、明治政府がめざす近代的な国づくりを推進するため、私立工業学校の創設を発意。明治20年10月31日、学園のルーツとなる工手学校を設立し、初代特選管理長には渡辺洪基が、初代校長には中村貞吉が就任しました。工手学校の創立にあたっては、東京駅舎を設計した辰野金吾やが国土土木業界の発展に尽力した古市公威など、14人の気鋭の工学者たちが顔を並べました。大正12年の関東大震災で工手学校の校舎は焼失。現在の新宿キャンパスに移転し、昭和3年に校名を「工学院」に改称しました。昭和24年、工学院大学を開学。「工業の实地に直接役立つ技術者を育成する」ことを使命として掲げました。昭和38年には、八王子キャンパスを開設するなど、工学系大学として発展する体制の整備に努めました。昭和62年、学園創立100周年を迎え、八王子キャンパスに総合工学研究棟、附属高等学校体育館を建設するなどの記念事業を実施しました。知的情報が集積する新宿キャンパスと地域社会と連携する八王子キャンパス。都心と学園都市八王子に拠点をもつ理工系大学としての特色を生かし、新しい時代の工学を探究するグローバルスタンダードな大学へと発展しました。平成元年、1世紀の道のりを歩んできた学園は新宿キャンパスを再開発し、高層棟を建設。先端的な「都心型大学」を誕生させました。平成23年には、日本初の建築学部を誕生させるとともに、大学院工学研究科にシステムデザイン専攻を設置するなど、社会のニーズを先取りする学園経営を展開しています。

私たち工学院大学は、建学の創造的精神を継承し、「未来を拓く学園」として進化を続けています。

学園は歴史を重なる中で、建学以来の伝統と実績に基礎をおきながら、ものづくりに意欲の高い人材育成に努めてきました。また、21世紀の知識基盤社会を中核的に支え、グローバルに活躍できる人材を育成するための教育研究機関を整備。社会や学生・生徒たちのニーズに的確に応えてきました。《工学院大学》ものづくりのプロを育てる工学部、情報化社会の能力を養成する情報学部、世界で通用する技術者を養成するグローバルエンジニアリング学部、新たな建築教育で未来を拓く建築学部からなり、6,000余名の学生たちが学んでいます。《工学院大学大学院》広い領域の各種専門分野にわたる多様な教授陣を揃え、現在6,060余名の大学院生が、実験系は主として八王子キャンパスで、ソフト科学・計画系は新宿キャンパスで、それぞれに専門の研究に励んでいます。《工学院大学附属高等学校》独自の2期制と学校6日制によるカリキュラムを実施。文系・理系にこだわらず、生徒たちの多様な進学スタイルに対応した指導を行っています。《工学院大学附属中学校》中高一環教育により6年後を見守った教育プログラムを実施。生徒全員がパソコンを自由に使用でき、中学3年時にはオーストラリアで異文化研修を実施し、語学力を養っています。



渡辺洪基 | 中村貞吉 | 辰野金吾 | 工手学校築地校舎



工学院淀橋校舎 | 新宿キャンパス | 八王子キャンパス

学園の沿革

黎明

| | | |
|-------|------|--|
| 明治20年 | 1887 | 10月31日、帝国大学総長 渡辺洪基が中心となり工手学校設立協議会を開催。(学園創立記念日) |
| 明治21年 | 1888 | 工手学校設立認可。2月開校式を挙げて授業を開始。特選管理長に渡辺洪基、初代校長に中村貞吉が就任。土木・機械・電気・造船・造船・探鉱・冶金・製造倉庫の8学科を設置。京橋区南小田原町(現中央区築地)に新校舎竣工。 |
| 明治31年 | 1898 | 財団法人工手学校設立。 |
| 昭和3年 | 1928 | 淀橋町角宮(現新宿キャンパス)に新校舎完成。工手学校を工学院と改称。 |
| 昭和19年 | 1944 | 工学院工業専門学校と工学院工業学校を開校。 |
| 昭和24年 | 1949 | 工学院大学を開学。工学部機械工学科と工業化学科の2学科を設置。工学院中学校・同高等学校を工学院大学中学校・同高等学校と改称。工学院を工学院専修学校と改称。 |
| 昭和26年 | 1951 | 財団法人工学院大学を学校法人工学院大学に組織変更。工学院専修学校を工学院大学専修学校と改称。 |
| 昭和38年 | 1963 | 八王子キャンパスを開校。 |
| 昭和39年 | 1964 | 大学院工学研究科修士課程を設置。 |
| 昭和41年 | 1966 | 大学院工学研究科博士課程を設置。 |
| 昭和42年 | 1967 | 高等学校全日制課程を八王子に移転。 |
| 昭和52年 | 1977 | 専修学校を廃止し、専門学校を設置。 |
| 昭和62年 | 1987 | 新宿校舎(新大層棟)の高層棟建設に着手。創立100周年記念式典を挙げる。 |
| 平成元年 | 1989 | 新宿高層棟校舎落成。創立100周年記念総合工学研究棟落成。 |
| 平成3年 | 1991 | 創立100周年記念高等学校体育館落成。 |
| 平成4年 | 1992 | 工学院大学高等学校を工学院大学附属高等学校と改称。新宿校舎中層棟落成。 |
| 平成7年 | 1995 | 新宿キャンパスに工学院大学エステック広場完成。 |
| 平成8年 | 1996 | 工学院大学附属中学校再開。 |
| 平成13年 | 2001 | 創立115周年記念体育館落成。附属中学校新校舎落成。 |
| 平成18年 | 2006 | 附属高等学校新校舎落成。大学は工学部の他に新たに情報学部、グローバルエンジニアリング学部を開設し、3学部体制となる。 |
| 平成19年 | 2007 | 八王子キャンパスにチューデントセンター落成。 |
| 平成21年 | 2009 | 新宿キャンパスに専門学校の記念碑建立。 |
| 平成23年 | 2011 | 日本初の建築学部が誕生し、4学部体制となる。大学院工学研究科システムデザイン専攻を設置。 |
| ⋮ | ⋮ | |
| 平成24年 | 2012 | 125周年記念総合教育棟7月竣工予定。 学園創立125周年 |

祭展

未来へ

125周年記念総合教育棟7月竣工予定。
学園創立125周年

学園創立125周年記念事業

学園は、平成24年(2012)に栄える創立125周年を迎えます。この大きな節目を、学園発展のジャンピングボードとして位置づけ、未来に向けて更なる発展を遂げるため、記念事業を実施しています。

(1)教育環境整備事業(募金対象事業)

1)125周年記念総合教育棟の建設

大学事務機能、学生サービス機能、教育研究機能を集約し、学生センターとともに八王子キャンパスのセンターゾーンを形成します。地下1階、地上4階建、2012年7月竣工予定です。

2)国際交流会館・学生寮の開設

本学は国際感覚に富んだ学生・生徒の育成を推進しています。国際交流会館の開設を機に、外国人留学生の受入れを本格化させるとともに、地方出身学生が安心して生活することができる学生寮を国際交流会館に併設します。

(2)学生・生徒の自主的活動支援事業(募金対象事業)

1)学生創造活動の支援

1.学生プロジェクトの支援
本学は学生の創造活動を奨励し、その活動を支援しています。NHK大学ロボコン、鳥人間コンテスト選手権大会、全日本学生フォーミュラ大会、ソーラーカーレースなどで好成績を収めています。

2.学園夢企画の始動

大学・大学院学生、附属中学・高等学校生徒による新しい創造活動です。附属中学校3チーム、附属高等学校7チーム、大学・大学院6チームを認認。夢づくりプロジェクトが活動中です。

2)学生・生徒の海外留学等の支援奨学金、外国人留学生支援奨学金の創設

1.大学・大学院学生、附属中学・高等学校生徒の海外留学支援奨学金の創設
2.外国人留学生奨学金の創設

3)学生・生徒のクラブ活動の支援

クラブ活動施設等の整備・拡充

(3)東日本大震災に係る支援事業(募金対象事業)

1)学生・生徒ボランティア活動の支援

2)教育研究活動としての復興の支援

(4)地域・社会貢献事業

1)理科教室等の主要都市での開催

2)記念講演会等の主要都市での開催

(5)学園史の編纂

- 1)読み物編の編纂
- 2)資料編の編纂
- 3)工手学校以来の専門学校の歴史・資料の保存

(6)記念式典・記念講演会

1)国際シンポジウムの開催

2)記念式典の開催

《学園創立125周年記念事業募金のお願い》

●募金使途

- (1)教育環境整備事業
 - 1)125周年記念総合教育棟の建設
 - 2)国際交流会館・学生寮の開設
- (2)学生・生徒の自主的活動支援事業
 - 1)学生創造活動の支援
 - 2)学生・生徒の海外留学等支援奨学金、外国人留学生支援奨学金の創設
 - 3)学生・生徒のクラブ活動支援
- (3)東日本大震災に係る支援事業
 - 1)学生・生徒ボランティア活動の支援
 - 2)教育研究活動としての復興の支援

●募金目標額

15億円(記念事業総事業費50億円)

●募金単位

- (1)個人:2口以上(1口2万円)のご寄付を、お願いいたします。
- (2)法人:2口以上(1口5万円)のご寄付を、お願いいたします。個人・法人とも、2口未満のご寄付についても125周年記念事業資金として有意義に活用させていただきます。

●払込期限

平成25年3月31日

●払込方法

- (1)個人
払込取扱票により、全国すべての金融機関の窓口から払込みいただけます。郵便局またはみずほ銀行をご利用いただきますと、手数料は無料となります。

◎ATM、インターネットバンキングからも払込みできます。所定の手数料は掛かりますが、銀行、郵便局どちらからも可能です。払込口座は払込取扱票に記載されております。お手続後は払込取扱票に所定の事項をご記入のうえ、下記事務室宛お送り下さい。所得税の優遇措置を受けるための関係書類の送付、氏名公表の可否等の確認のため必ずお願いいたします。

◎10万円を超える現金での金融機関からの払込は本人確認資料が必要となります。

(2)法人

払込取扱票はご利用できません。
下記事務室までご連絡ください。別途ご案内申し上げます。

《お問合せ》

工学院大学学園創立125周年記念事業事務局
〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-2-4-2
TEL.03(3340)1449 FAX.03(3345)0228
<http://www.kogakuin.ac.jp/>

●税法上の優遇措置

(1)個人

◎所得税/平成23年の税制改正により、本学への寄付金は、確定申告で税額控除が受けられるようになりました。所得税額の25%を上限として、寄付金額(所得金額の40%が上限)から2千円を減じた金額の40%が所得税額から控除されます。

◎個人住民税/地方自治体が条例で指定した寄付金は税額控除が受けられます。寄付金額(所得金額の30%が上限)から2千円を減じた金額の、都道府県が指定した寄付金は4%、市区町村が指定した寄付金は6%、双方が指定した寄付金は10%、それぞれ個人住民税額から控除されます。本学は東京都八王子市から指定されていますが、お住まいの地方自治体にご確認ください。

◎確定申告/手続には金融機関で受け取られた払込金受領書または本学発行の寄付金受領証明書のいずれかと、本学からお送りする「税額控除に係る証明書」の写しの2部が必要です。確定申告により所得税、個人住民税両方の税額控除が受けられます。

(2)法人:受配者指定寄付金

受配者指定寄付金とは、日本私立学校振興・共済事業団(以下「事業団」)が法人から寄付金を受け入れ、これを法人が指定した学校法人に配付する制度で、寄付金全額が損金に算入できます。事業団は、寄付金受入れの後、寄付金受領書を発行いたしますので本学経由でお送りいたします。当該年度の税務申告時にこの寄付金受領書が必要ですので、大切に保管ください。

●寄付者の顕彰

(1)芳名録への掲載

ご寄付いただいた方のお名前を、芳名録に掲載させていただきます。

(2)学園広報誌への掲載

ご寄付いただいた方のお名前を、学園広報誌「窓」に掲載させていただきます。

(3)銘板の設置

一定額以上のご寄付をいただいた方のお名前を録した銘板を、125周年記念総合教育棟に設置いたします。(個人:4万円以上)
(企業・団体:10万円以上)

(4)賛助員・名誉賛助員の称号を贈呈

個人で100万円以上ご寄付いただいた方には「賛助員」の称号を、500万円以上ご寄付いただいた方には「名誉賛助員」の称号を贈呈し、創立記念日・学園行事などにご招待させていただきます。



「学園創立125周年記念事業」は、着実に進捗しています。2012年の学園の最大のミッションは、記念事業を完遂させることです。この記念事業を通して、技術・人・ところをつなぐ、グローバル社会に通用する活力と創造力に富む人材を育成してまいります。

●125周年記念総合教育棟の建築が、着々と進められています。

延床面積は12,000㎡で、4棟の建物と広場・パッサージュに特徴がある斬新なデザイン。免震等の最新技術を取り入れ、今後の八王子キャンパスの中核となる建物として、7月には竣工の予定です。



八王子キャンパスで工事が進む総合教育棟



2位入賞のソーラーカー・プロジェクト

●学生プロジェクトが、競技会で好成績。ソーラーカー・プロジェクトが「World Green Challenge 2011」に出場。3日間25時間走行の過酷なレースで、2位入賞という大快挙となりました。今後、大きな飛躍が期待されています。

●学園夢企画も、元気に、楽しくスタートしました。

学生・生徒の創造性を育むためにスタートした、学園夢企画。昨年度は附属中高生10チーム、大学生6チームがプロジェクト活動を展開。今年度も多くの新しいチームが活動に参加し、記念事業としての広がりや明日への大きな成果が期待されています。



学園夢企画の学生作品



石巻市に建設された恒久復興住宅

●東日本大震災の被災地支援のために、石巻市に恒久復興住宅を建設しました。2011年4月から、学生・生徒のボランティア活動と教員の復興支援活動を支援しています。2011年11月には、東日本大震災の被災地に、企業からいただいた募金で、復興住宅を建設しました。

●出張理科教室や記念講演会も好評です。

2011年までに、125周年記念事業として記念講演会を7回にわたり実施。2011年11月には、諏訪市で出張理科教室を開催しました。2012年には、東日本大震災被災地での出張理科教室や複数回の記念講演会を計画しています。



子供たちに人気の出張理科教室

学園創立125周年をステップに、すでに150周年に向けて発進!!

《ビジョン150プロジェクト》

125年の歴史と伝統をふまえ、150周年に向けた学園の理念・ミッションの再構築とビジョンを創るため、2010年1月に「ビジョン150プロジェクト」を立ち上げました。さらに、ビジョン150に基づき策定した中期計画「コンパス2017〜Compass toward 2017〜」を2012年4月からスタートさせます。